

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月12日

上場会社名 ニッセイ同和損害保険株式会社
 コード番号 8759 URL <http://www.nissaydowa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 立山 一郎
 問合せ先責任者(役職名) 経理部主計グループ長 (氏名) 内山 雪絵
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

TEL 03-5550-0232

(注)金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	233,452	△0.3	5,280	—	2,646	—
21年3月期第3四半期	234,263	—	△12,176	—	△5,727	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.97	—
21年3月期第3四半期	△15.08	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,100,573	199,857	18.2	526.57
21年3月期	1,100,172	184,364	16.8	485.73

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 199,857百万円 21年3月期 184,364百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	312,500	0.5	8,500	—	3,500	—	9.22

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	390,055,814株	21年3月期	390,055,814株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	10,513,424株	21年3月期	10,495,796株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	379,551,034株	21年3月期第3四半期	379,735,936株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、通期の業績予想に関する事項につきましては、平成21年5月20日に公表した業績予想を修正しております。上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や個人消費の持ち直しの動きがみられたものの、企業収益は大幅に減少、雇用情勢は悪化傾向が継続するなど、依然として厳しい状況となりました。

損害保険業界におきましては、このような経済動向のなか、住宅着工件数の下げ止まりを反映した火災保険料収入の伸びなどにより、保険料収入はほぼ横ばいとなりました。

このような情勢のなか、当社は、引き続き「経営品質革新」を最重要課題とし、代理店における「お客さまいちばん！品質基準」や、本年4月1日に制定した「ニッセイ同和損保グループ行動規範」に基づき、お客さまの視点に立った業務遂行態勢の一層の強化に励み、お客さまの満足度向上に全社を挙げて取り組んでまいりました。

このほか、「ニッセイ未来を育む森づくり」に対する寄付金を募るなど、社会貢献活動にも努めてまいりました。

このような施策を展開いたしました結果、経常収益につきましては、保険引受収益が2,630億円、資産運用収益が257億円、その他経常収益が6億円となり、前第3四半期累計期間に比べ31億円増加して2,894億円となりました。

一方、経常費用につきましては、保険引受費用が2,284億円、資産運用費用が140億円、営業費及び一般管理費が409億円、その他経常費用が7億円となり、前第3四半期累計期間に比べ142億円減少して2,841億円となりました。

この結果、経常利益は前第3四半期累計期間に比べ174億円増加して52億円となりました。

これに特別損益、法人税及び住民税並びに法人税等調整額を加減した四半期純利益は26億4千6百万円となり、前第3四半期累計期間に比べ83億7千4百万円増加いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ4億円増加して1兆1,005億円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前事業年度末に比べ154億円増加して1,998億円となりました。

この結果、自己資本比率は18.2%、1株当たり純資産額は526円57銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、正味支払保険金の増加などにより、前第3四半期累計期間に比べ157億円減少して168億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却・償還による収入の増加などにより、前第3四半期累計期間に比べ375億円増加して170億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出の減少により、前第3四半期累計期間に比べ1億円増加して30億円の支出となりました。

これらの結果、当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前第3四半期会計期間末と同程度の534億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想に関する事項につきましては、平成21年5月20日に公表した業績予想を修正しております。

平成22年3月期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績を勘案して、正味収入保険料を3,125億円、経常利益を85億円、当期純利益を35億円としております。

正味収入保険料につきましては、過去の実績を勘案した当社独自の予測に基づいております。

資産運用につきましては、市場金利、為替レート、株式市場ともに平成21年12月末から大きくは変動しない前提としております。

当社の業績予想は上記の前提条件に基づいておりますが、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	26,208	32,803
コールローン	27,300	24,300
有価証券	820,843	810,817
貸付金	37,559	40,785
有形固定資産	56,171	56,778
無形固定資産	1,058	236
その他資産	83,133	78,144
繰延税金資産	49,229	57,153
貸倒引当金	△928	△844
投資損失引当金	△2	△2
資産の部合計	1,100,573	1,100,172
負債の部		
保険契約準備金	871,438	884,604
支払備金	123,257	125,808
責任準備金	748,180	758,795
その他負債	27,278	29,678
未払法人税等	525	780
その他の負債	26,753	28,898
退職給付引当金	942	337
賞与引当金	—	580
特別法上の準備金	1,056	607
価格変動準備金	1,056	607
負債の部合計	900,715	915,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,328	47,328
資本剰余金	40,307	40,307
利益剰余金	73,391	73,781
自己株式	△4,946	△4,938
株主資本合計	156,081	156,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,776	27,885
評価・換算差額等合計	43,776	27,885
純資産の部合計	199,857	184,364
負債及び純資産の部合計	1,100,573	1,100,172

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
経常収益	286,302	289,472
保険引受収益	263,555	263,009
(うち正味収入保険料)	234,263	233,452
(うち収入積立保険料)	12,388	10,332
(うち積立保険料等運用益)	6,645	6,039
(うち支払備金戻入額)	—	2,550
(うち責任準備金戻入額)	10,257	10,615
資産運用収益	22,115	25,796
(うち利息及び配当金収入)	20,339	16,395
(うち有価証券売却益)	8,406	14,913
(うち積立保険料等運用益振替)	△6,645	△6,039
その他経常収益	631	666
経常費用	298,479	284,192
保険引受費用	228,715	228,440
(うち正味支払保険金)	142,263	146,619
(うち損害調査費)	13,263	13,558
(うち諸手数料及び集金費)	39,929	40,438
(うち満期返戻金)	30,110	27,730
(うち支払備金繰入額)	2,359	—
資産運用費用	26,507	14,020
(うち有価証券売却損)	4,693	3,700
(うち有価証券評価損)	17,811	9,273
営業費及び一般管理費	42,711	40,997
その他経常費用	544	733
(うち支払利息)	0	0
経常利益又は経常損失(△)	△12,176	5,280
特別利益	3,196	89
特別法上の準備金戻入額	3,083	—
価格変動準備金戻入額	3,083	—
その他	113	89
特別損失	329	2,267
特別法上の準備金繰入額	—	448
価格変動準備金繰入額	—	448
その他	329	1,818
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△9,309	3,102
法人税及び住民税	380	1,529
法人税等調整額	△3,962	△1,073
法人税等合計	—	456
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,727	2,646

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△9,309	3,102
減価償却費	2,774	2,410
減損損失	12	—
支払備金の増減額(△は減少)	2,359	△2,550
責任準備金の増減額(△は減少)	△10,257	△10,615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	83
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,395	604
賞与引当金の増減額(△は減少)	△545	△580
価格変動準備金の増減額(△は減少)	△3,083	448
利息及び配当金収入	△20,339	△16,395
有価証券関係損益(△は益)	14,292	△1,677
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	939	△262
有形固定資産関係損益(△は益)	204	28
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	△366	△5,364
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△1,964	2,822
その他	12,806	△6,431
小計	△13,899	△34,376
利息及び配当金の受取額	20,138	16,512
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△7,359	△1,902
法人税等の還付額	—	2,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△16,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	△448	805
買入金銭債権の取得による支出	△795	—
買入金銭債権の売却・償還による収入	1,758	—
有価証券の取得による支出	△160,168	△180,792
有価証券の売却・償還による収入	134,581	196,509
貸付けによる支出	△1,986	△2,171
貸付金の回収による収入	8,991	5,398
資産運用活動計	△18,066	19,748
営業活動及び資産運用活動計	△19,186	2,917
有形固定資産の取得による支出	△2,535	△2,022
有形固定資産の売却による収入	168	193
その他	△0	△822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,434	17,095

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△0	△6
自己株式の売却による収入	40	—
自己株式の取得による支出	△198	△7
配当金の支払額	△3,038	△3,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,197	△3,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	△646	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,398	△2,790
現金及び現金同等物の期首残高	78,742	56,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,343	53,418

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

第3四半期会計期間に係る四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	96,335	102,405
保険引受収益	91,097	92,676
(うち正味収入保険料)	(78,527)	(78,506)
(うち収入積立保険料)	(4,276)	(3,482)
(うち積立保険料等運用益)	(2,122)	(1,997)
(うち支払備金戻入額)	(—)	(2,856)
(うち責任準備金戻入額)	(6,171)	(5,819)
資産運用収益	5,036	9,542
(うち利息及び配当金収入)	(6,513)	(5,877)
(うち有価証券売却益)	(634)	(5,419)
(うち積立保険料等運用益振替)	(△2,122)	(△1,997)
その他経常収益	200	185
経常費用	113,286	103,503
保険引受費用	78,659	81,773
(うち正味支払保険金)	(50,006)	(52,072)
(うち損害調査費)	(4,624)	(4,448)
(うち諸手数料及び集金費)	(13,718)	(13,736)
(うち満期戻金)	(12,140)	(11,550)
(うち支払備金繰入額)	(△2,370)	(—)
資産運用費用	19,506	7,165
(うち有価証券売却損)	(2,791)	(909)
(うち有価証券評価損)	(14,437)	(5,863)
営業費及び一般管理費	15,047	14,465
その他経常費用	73	98
(うち支払利息)	(0)	(0)
経常損失(△)	△16,951	△1,098
特別利益	3,528	18
特別法上の準備金戻入額	3,417	—
価格変動準備金戻入額	(3,417)	(—)
その他	111	18
特別損失	234	909
特別法上の準備金繰入額	—	145
価格変動準備金繰入額	(—)	(145)
その他	234	764
税引前四半期純損失(△)	△13,657	△1,988
法人税及び住民税	△3,656	36
法人税等調整額	△1,772	△1,133
法人税等合計		△1,096
四半期純損失(△)	△8,227	△891

(注) 上記は、第3四半期累計期間に係る四半期損益計算書の金額から中間損益計算書の金額を差し引いて作成しております。

6. その他の情報

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

区 分		前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)①		273,888	282,101	8,213	3.0%
(元受正味保険料)②		(261,499)	(271,769)	(10,269)	(3.9)
経常	保 険 引 受 収 益 ③	263,555	263,009	△ 546	△ 0.2
	(うち正味収入保険料)④	(234,263)	(233,452)	(△ 810)	(△ 0.3)
	(うち収入積立保険料)⑤	(12,388)	(10,332)	(△ 2,056)	(△ 16.6)
	保 険 引 受 費 用 ⑥	228,715	228,440	△ 275	△ 0.1
	(うち正味支払保険金)⑦	(142,263)	(146,619)	(4,356)	(3.1)
	(うち損害調査費)⑧	(13,263)	(13,558)	(295)	(2.2)
	(うち諸手数料及び集金費)⑨	(39,929)	(40,438)	(508)	(1.3)
	(うち満期返戻金)⑩	(30,110)	(27,730)	(△ 2,379)	(△ 7.9)
	資 産 運 用 収 益 ⑪	22,115	25,796	3,681	16.6
	(うち利息及び配当金収入)⑫	(20,339)	(16,395)	(△ 3,944)	(△ 19.4)
(うち有価証券売却益)⑬	(8,406)	(14,913)	(6,507)	(77.4)	
資 産 運 用 費 用 ⑭	26,507	14,020	△ 12,487	△ 47.1	
(うち有価証券売却損)⑮	(4,693)	(3,700)	(△ 992)	(△ 21.2)	
(うち有価証券評価損)⑯	(17,811)	(9,273)	(△ 8,538)	(△ 47.9)	
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 ⑰	42,711	40,997	△ 1,713	△ 4.0	
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)⑱	(39,691)	(38,170)	(△ 1,520)	(△ 3.8)	
そ の 他 経 常 損 益 ⑲	87	△ 66	△ 154	△ 176.0	
経 常 利 益 ⑳	△ 12,176	5,280	17,457	—	
(保険引受利益)㉑	(△ 4,425)	(△ 3,397)	(1,028)	(—)	
特別損益	特 別 利 益 ㉒	3,196	89	△ 3,106	△ 97.2
	特 別 損 失 ㉓	329	2,267	1,937	588.0
	特 別 損 益 ㉔	2,867	△ 2,177	△ 5,044	△ 176.0
税 引 前 四 半 期 純 利 益 ㉕	△ 9,309	3,102	12,412	—	
法 人 税 及 び 住 民 税 ㉖	380	1,529	1,149	302.2	
法 人 税 等 調 整 額 ㉗	△ 3,962	△ 1,073	2,889	—	
法 人 税 等 合 計 ㉘	—	456	—	—	
四 半 期 純 利 益 ㉙	△ 5,727	2,646	8,374	—	
諸比率	正 味 損 害 率 ⑳	66.4%	68.6%		
	正 味 事 業 費 率 ㉑	34.0	33.7		

(注) 1. 保険引受利益=保険引受収益 - (保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費) ±その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金+損害調査費) / 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100

種目別保険料・保険金

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	47,603	18.2	6.1	52,030	19.1	9.3
海 上	5,309	2.0	3.8	4,254	1.6	△19.9
傷 害	23,226	8.9	△2.6	22,685	8.3	△2.3
自 動 車	120,039	45.9	△0.9	120,985	44.5	0.8
自動車損害賠償責任	24,155	9.2	△19.4	22,597	8.3	△6.5
そ の 他	41,164	15.7	16.8	49,215	18.1	19.6
合 計	261,499	100.0	0.5	271,769	100.0	3.9

正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	34,397	14.7	6.8	37,352	16.0	8.6
海 上	4,052	1.7	3.8	3,246	1.4	△19.9
傷 害	22,739	9.7	△2.2	21,934	9.4	△3.5
自 動 車	119,851	51.2	△1.0	120,734	51.7	0.7
自動車損害賠償責任	24,228	10.3	△18.2	21,455	9.2	△11.4
そ の 他	28,994	12.4	1.0	28,730	12.3	△0.9
合 計	234,263	100.0	△1.9	233,452	100.0	△0.3

正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)
火 災	12,819	△3.8	39.0	14,373	12.1	39.9
海 上	2,295	14.8	59.4	2,350	2.4	75.7
傷 害	11,613	△11.4	56.3	12,225	5.3	60.8
自 動 車	77,533	△4.8	71.8	80,339	3.6	74.0
自動車損害賠償責任	21,098	0.0	95.9	20,407	△3.3	104.8
そ の 他	16,901	8.8	60.8	16,923	0.1	61.4
合 計	142,263	△2.9	66.4	146,619	3.1	68.6

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

有価証券関係

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

3. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
	取得原価	四半期貸借 対照表計上額	差 額	取得原価	貸借対照 表計上額	差 額
公 社 債	320,801	326,636	5,835	343,912	345,601	1,689
株 式	195,438	270,334	74,895	205,900	263,897	57,996
外 国 証 券	213,922	200,259	△13,662	186,739	169,938	△16,801
そ の 他	5,028	6,690	1,662	13,445	14,404	958
合 計	735,189	803,921	68,731	749,998	793,841	43,842

当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
<p>その他有価証券で時価のあるものについて、9,262百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。</p>	<p>その他有価証券で時価のあるものについて、18,737百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当事業年度末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。</p>

金銭の信託関係

1. 満期保有目的の金銭の信託

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

2. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

デリバティブ取引関係

(単位:百万円)

対象物の種類	取引の種類	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
株式	株価指数先物取引 買建	5,343	5,441	98	-	-	-
債券	債券先物取引 売建	1,400	1,397	3	-	-	-
合	計	-	-	102	-	-	-

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

(参考) 上記以外で時価ヘッジを適用しているものは以下のとおりであります。

(単位:百万円)

対象物の種類	取引の種類	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
通貨	為替予約取引 売建	89,406	88,419	986	104,563	110,402	△5,838
合	計	-	-	986	-	-	△5,838

ソルベンシー・マージン比率

(単位: 百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	411,874	386,106
資本金又は基金等	156,081	153,442
価格変動準備金	1,056	607
危険準備金	201	176
異常危険準備金	135,883	135,350
一般貸倒引当金	80	56
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	61,704	39,305
土地の含み損益	18,307	20,129
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	38,558	37,035
(B) リスクの合計額	90,511	90,305
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク(R ₁)	19,988	19,996
第三分野保険の保険リスク(R ₂)	—	—
予定利率リスク(R ₃)	1,076	1,089
資産運用リスク(R ₄)	34,872	32,583
経営管理リスク(R ₅)	2,065	3,052
巨大災害リスク(R ₆)	47,314	48,090
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×100]	910.1%	855.1%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、当第3四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額: 上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額であります。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険(予定利率リスク) : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険(資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険(経営管理リスク) : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク) : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結) 補足資料

証券化商品等への投資状況

<投資状況>

①特別目的事業体(SPEs)一般

当該資産の投資実績・保有はありません。

②債務担保証券(CDO)

当該資産の投資実績・保有はありません。

③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

当該資産の投資実績・保有はありません。

④商業用不動産担保証券(CMBS)

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑤レバレッジド・ファイナンス

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑥資産担保証券(ABS)

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑦債券担保証券(CBO)

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
債券担保証券(CBO)	4	▲0	—
シニア	4	▲0	—
メザニン	—	—	—
エクイティ	—	—	—

※裏付資産は国内資産

⑧その他

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
その他	15	▲0	—
変動利付債券	9	▲0	—
ヘッジファンド	5	▲0	—

以 上